

WHO 西太平洋地域医学情報データベース (WPRIM) 構築の現状

北川 正路¹⁾, 津谷喜一郎²⁾

東京慈恵会医科大学 学術情報センター¹⁾, 東京有明医療大学 保健医療学部²⁾

I. はじめに

西太平洋地域医学情報データベース (Western Pacific Region Index Medicus: WPRIM)¹⁾²⁾ (以下, WPRIM) は, 世界保健機関 (World Health Organization: WHO) (以下, WHO) の西太平洋地域で出版された医学・保健分野の雑誌論文を検索するためのデータベースであり, 2006年にWHO西太平洋地域事務局 (WHO Regional Office for the Western Pacific: WHO/WPRO)³⁾ (以下, WHO/WPRO) (フィリピン・マニラ) により公開された。WHO西太平洋地域には日本を含む37の国・エリアがあり, WPRIMには日本の医学・保健情報も収載されている。

本稿では, WPRIM国内委員会 (WPRIMJ)⁴⁾ (以下, WPRIMJ) の委員としてWPRIMの活動に関わってきた経験から, WPRIM構築の現状について報告する。なお, WPRIMJでは“WPRIM”を「ウプリム」, “WPRIMJ”を「ウプリムジャー」と呼んでいる。

II. WPRIMの開始と新プラットフォームへの移行

1. Global Index MedicusとWPRIMの開始

WHO本部 (スイス・ジュネーブ) の図書館部門 (Library and Information Networks for Knowledge) では, 各地域の保健情報へのアクセス性を高めることを目的として, WHO各地域内で発表された雑誌論文を検索するシステムであるGlobal Index Medicus (GIM)⁵⁾ (以下, GIM) を提供している。GIMは, WHO本部により2005年に公開されたGlobal Health Library (GHL) プロジェクトの活動の1つであり, 図1に示すように, 現在, WHO欧州事務局 (Regional Office for Europe) を除く5つのWHO地域事務局で構築されている論文情報

データベースにより構成されており, 各地域のデータベースの統合版と言える。

WHO/WPROでは, WHO本部の方針に従い, 地域内の医学・保健情報をインターネット上で効率よく入手, 利用できる環境を整備するためにGIMの活動の一環として地域版データベースを構築・公開することが必要と考え, 2005年5月にクアラルンプール (マレーシア) で開催されたWHO西太平洋地域ワークショップ (WHO/WPRO Regional Workshop of National Focal Point Librarians) にてWPRIMの構築に取り組むことを確認した。その後, WHO/WPROと韓国の担当者 (中心となったのは当時のソウル大学 [Seoul National University: SNU] 医学図書館長Jeong-Wook Seo), 関連団体の協力によってWPRIMの開発が進められ, 2006年にWHO/WPRO内のサーバによりWPRIMが公開された。

2. 新プラットフォームへの移行

WPRIMのシステム管理は, 当初WHO/WPRO内のスタッフが担当していたが, 2008年から中国医学科学院医学信息研究所 (Institute of Medical Information, Chinese Academy of Medical Sciences: IMICAMS) (以下, IMICAMS) (中国・北京) への移行が進められた。

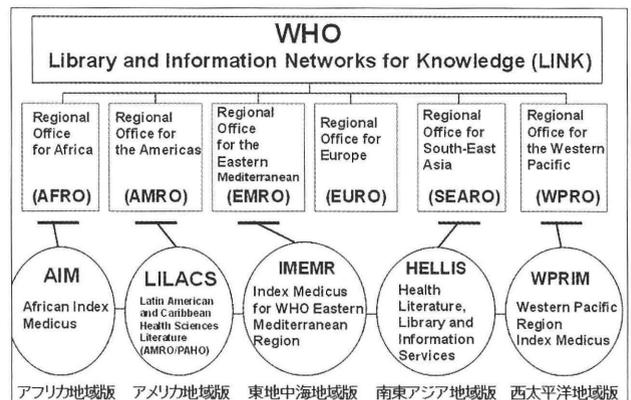


図1. Global Index Medicus (GIM) の構成

¹⁾ Masamichi KITAGAWA:ヘルスサイエンス情報専門員 (上級) 〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8. Tel.03-5400-1200 (内線2121) Fax.03-3435-1922 kitagawa@jikei.ac.jp

²⁾ Kiichiro TSUTANI (2016年10月4日 受理)

2010年5月にWPRIMはIMICAMS内のサーバにより新しいプラットフォームにて公開され、その後、GIMとのリンクもなされた。IMICAMSのサーバへ移行されたからは、各国からのデータの収集・加工とサーバへの登録、システムのメンテナンスなど、システム管理に関する実務はIMICAMSのスタッフが担当している。

新プラットフォームへの移行に伴い、検索画面が一新されて検索機能が強化されたほか、管理者用画面も増設され、各国の担当者が管理者用画面により掲載論文のデータをオンラインにて登録することが可能となった。

図2は、IMICAMSのサーバにて管理されている現在のWebサイトのトップページである。検索ボックスの下部にはWPRIMの目的 (Goal) や目標 (Objectives) についての記載があり、また左列のメニューにはWPRIMの概要 (About WPRIM)、掲載誌リスト (Journal List)、ニュースレター (WPRIM Newsletter)、関連会議資料 (Meeting and Events) の項目が用意されており、WPRIMに関する情報が入手できるようになっている。WPRIMはGIMの一部を構成するため、図2の画面でWPRIMのみを利用するほか、GIMのWebサイト⁵⁾にて他地域版データベースとWPRIMを一括検索することも可能である。

Ⅲ. WPRIM 構築の目的

WPRIMは、WHO 西太平洋地域内の医学・保健情報を信頼できる内容で流通させ、インターネットを通して効率よく入手、利用できる環境を整備することを目的として構築が進められており¹⁾、この目的の実現のために次の3点を使命としている。

- ① WPRIM 収載誌の選定と収載論文の書誌データの整備
- ② 書誌データベースの作成 (抄録・フルテキストへのリンクを含む)
- ③ WHO 西太平洋地域の各国における雑誌編集の質の向上

医学・保健研究にとって有益な地域特有の情報が存在しても、雑誌論文として発表されていなかったり、また論文として発表されていてもインターネットで検索できないと、利用される可能性は少ない。そのためWPRIMの活動では、単にコンピュータ上でデータベースを構築するだけではなく、地域内各国における雑誌の編集・出版活動を促進し、掲載論文のメタデータの作成とメタデータのWPRIMサーバへの登録をサポートすることも課題としている。また論文の信頼性を高めるためには、編集の手順や方法を国際的に標準とされる編集ルールに準拠させて雑誌の質の向上を図ることも重要であると考

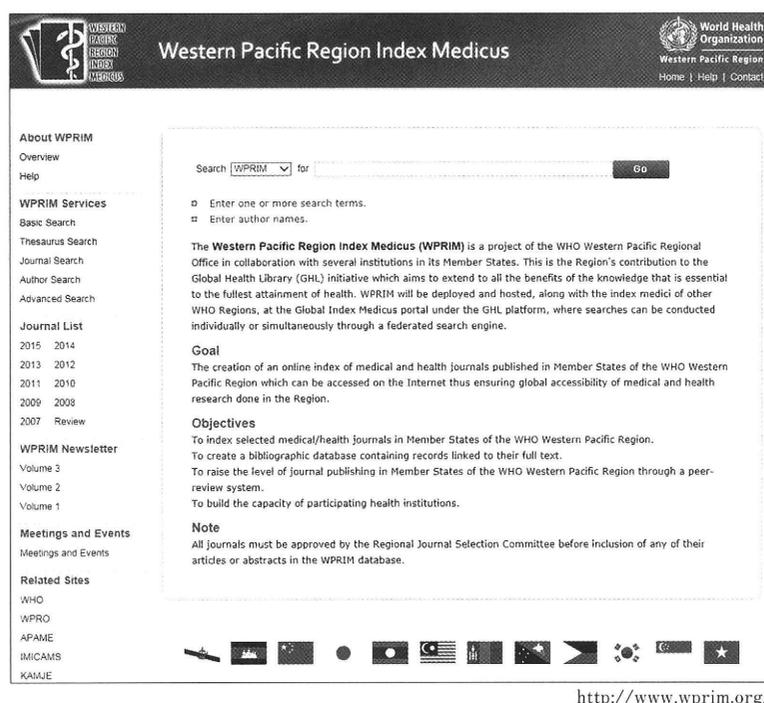


図2. 西太平洋地域医学情報データベース (WPRIM)

えており, WPRIMでは編集者団体との連携にも取り組んでいる。

IV. WPRIM 掲載誌の選択

WPRIMの掲載誌は, 各国の掲載誌選択委員会 (National Journal Selection Committee) から挙げられた候補誌をWPRIM地域掲載誌選択委員会 (Regional Journal Selection Committee) が承認して決定される。2016年9月までに, 14の国・機関の624誌が掲載誌として承認されている (日本20誌) (表1, 2)。

WPRIM掲載誌の選択基準として2007年に以下の項目が定められており⁶⁾, 掲載誌はこれら5項目すべてを満たす雑誌から選択される。

- ①保健・生物医学 (health and biomedical) 分野の雑誌
- ②査読システムをもつ雑誌
- ③英文抄録を掲載する雑誌
- ④定期的に (年2回以上) 発行される雑誌
- ⑤各国の掲載誌選択委員会による追加基準を満たす雑誌

V. 日本の掲載候補誌選択のための委員会

日本の掲載候補誌選択のための委員会として2006年11月にWPRIMJ(委員長:津谷喜一郎)⁴⁾が設立された。WPRIMJは, 掲載候補誌選択のほか, 掲載論文のメタデータ作成, 医学雑誌の質の向上などWPRIM構築に関わる活動の全般に携わるため, WPRIMJの委員は, 医薬学・情報学研究者, データベース・電子ジャーナル作成者, 医学雑誌編集者 (編集長), 図書館関係者等の各種関連分野の専門家から構成されている。

前章でみたとおり, WPRIM掲載誌の基準には各国による追加基準を設けることができると定められており, WPRIMJでは2007年に次の4つの追加基準を設けている。

- ①MEDLINE非掲載である。
- ②CiNii (国立情報学研究所) もしくはJ-STAGE (科学技術振興機構) に掲載されている。
- ③臨床試験論文が掲載される雑誌においては, 臨床試験登録公開 (clinical trial registry: CTR) が投稿規程に明記されている。
- ④ランダム化比較試験 (randomized controlled trial: RCT) の報告はCONSORT声明に準拠することが投稿規程に明記されている。

②にて「CiNiiもしくはJ-STAGEに掲載」としたのは, CiNiiとJ-STAGEからはWPRIM掲載論文のメタデータとフルテキストへのリンク情報の提供を受けることができ, WPRIM搭載のために新たにデータを作成す

表1. WPRIM 掲載選定誌数 (2007 ~ 2016年選定)

国名 (機関名)	掲載誌数
Brunei (ブルネイ)	1
Cambodia (カンボジア)	1
China (中国)	288
Fiji (フィジー)	1
Japan (日本)	20
Lao PDR (ラオス)	1
Malaysia (マレーシア)	22
Mongolia (モンゴル)	16
Papua New Guinea (パプアニューギニア)	2
Philippines (フィリピン)	19
Republic of Korea (韓国)	235
Singapore (シンガポール)	5
Viet Nam (ベトナム)	12
WHO/WPRO	1
合計	624

表2. 日本のWPRIM 掲載誌 (20誌)

選定年	雑誌名
2007年	Environmental Health and Preventive Medicine* 日本東洋医学雑誌
2008年	日本農村医学会雑誌 Journal of Rural Medicine
2011年	医学教育 Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 日本心臓血管外科学会雑誌 Oral Science International 体力科学
2012年	日本温泉気候物理医学会雑誌 Tropical Medicine and Health 国際保健医療 全日本鍼灸学会雑誌
2013年	日本プライマリ・ケア連合学会誌 General Medicine 日本緩和医療学会誌 薬剤疫学 医薬品情報学
2014年	日本補完代替医療学会誌
2015年	社会薬学

*MEDLINE 掲載後は非掲載

る必要がないためである。2007年当初は「CiNii もしくは J-STAGE」としていたが、国立情報学研究所の電子図書館事業 (NII-ELS) の J-STAGE への移行に伴い、現在は実質的には J-STAGE の掲載誌のみが対象となっている。

③の臨床試験登録公開、④の CONSORT 声明準拠は、国際的な編集ルールで規定されている内容であり、雑誌の質の向上のためにこれらの投稿規程への明記を促進することが必要と考えられたためである。

日本国内の学協会・機関にて WPRIM への掲載を希望する雑誌がある時は、WPRIMJ の Web サイト⁴⁾ に掲載されている application form に必要事項を記入して WPRIMJ 事務局に送付する。通常 application form が 6 月末までに届くと、WPRIMJ での審査により候補誌とされ、例年 8 月に開催される WPRIM 地域掲載誌選択委員会の審査を経て WPRIM の掲載誌として決定された後に IMICAMS にてサーバへの搭載作業がなされる。

WPRIMJ にて医学雑誌の質の向上のために編集者間の意見交換の場を設けることが提案されたことをきっかけとして、日本医学雑誌編集者組織委員会 (委員長: 北村聖) による準備期間を経て 2008 年 8 月に日本医学雑誌編集者会議 (Japanese Association of Medical Journal Editors: JAMJE)⁷⁾ が設立され、WPRIMJ の委員も同会議の活動を通して国内雑誌の編集の改善に取り組んでいる。

VI. WPRIM 参加国間の協力、編集者団体との連携

1. WPRIM 参加国間の協力

WPRIM の日常の運用は、WHO/WPRO、IMICAMS、関連機関の担当者により維持されているが、WPRIM 掲載誌の選択、地域の医学・保健情報に関する論文の出版、各国の雑誌出版の質の向上といった日常の運用の範囲を越えた課題に取り組むために、WPRIM 参加国による会議やワークショップが開催されている。

1) WPRIM 会議

WPRIM の現状の問題点の解決や将来の改善に向けた意見交換のために、WPRIM 参加国による WPRIM 会議が毎年各国の持ち回りで開かれる。WPRIM 会議には各国の研究者、医療従事者、編集者、出版者、データベース作成者、図書館員などの関連する専門家の出席があり、WHO/WPRO、IMICAMS から WPRIM のシステム運用に関する現状、各国から掲載誌選択や雑誌編集・出版、論文データの WPRIM への搭載に関する取り組みと問題点が報告され、対応策が議論される。また、WPRIM 会議期間中には WPRIM 地域掲載誌選択委員会

が開催され、各国から報告された候補誌から掲載誌の決定がなされる。

2) WPRIM データベース・ワークショップ

WPRIM への論文データの登録作業に関わる実務者 (IT 専門家や図書館員) を対象としたワークショップが不定期に開催される。WPRIM に掲載する論文のデータは XML ファイルで作成して WPRIM の管理画面から登録することが推奨されているが、XML ファイルが用意できない国は PDF ファイルやテキストファイルを IMICAMS にメール送付し、IMICAMS がそれらのファイルを加工して WPRIM に搭載している。各国での XML ファイル作成環境を整備するために、ワークショップでは IMICAMS のスタッフによる論文データファイル作成の実習、参加者による電子ジャーナル出版に関わる事例の報告などのプログラムが組まれる。

2. アジア太平洋医学雑誌編集者会議との連携

WPRIMJ と日本医学雑誌編集者会議の協力について述べたが、WPRIM においても編集者団体との連携活動がみられる。

WHO 西太平洋地域を含むアジア太平洋地域の医学雑誌編集者の団体として、2008 年 5 月にアジア太平洋医学雑誌編集者会議 (Asia Pacific Association of Medical Journal editors: APAME)⁸⁾ (以下、APAME) の設立会議が開催された。WPRIM と APAME の会議は、毎年、連続した日程で同じ会場にて開催される。APAME の年次会議では、論文の形式や査読システム、発表倫理など編集に関する広範囲なトピックについての講演や発表があり、WPRIM 関係者も出席して地域内の雑誌編集・出版の改善について意見交換がなされている。

APAME での会合により、WHO の西太平洋地域と南東アジア地域の電子ジャーナルのデジタルアーカイブである APAMED Central⁹⁾ が開始されるといった動きもある。

VII. WPRIM の検索機能

1. WPRIM の検索サイト

図 2 は WPRIM の Web サイトのトップページである。キーワードや著者名から検索するための検索ボックスが上部に配置されている。

トップページには検索ボックスによる検索機能が提供されているが、左列メニューの WPRIM Services の項目から、以下の検索機能を選択することも可能である。

- ・ Basic Search (フィールド、出版年を指定したキーワード検索)

- ・ Thesaurus Search (MeSHによる検索)
- ・ Journal Search (収載誌名による検索)
- ・ Author Search (著者名による検索)
- ・ Advanced Search (フィールド指定, AND, OR, NOTの利用)

2. GIMの検索サイト

図3はGIMのWebサイトのトップページである。GIMはWPRIMを含む5つのWHO地域事務局のデータベースにより構成されているため、GIMの統合検索機能により、WPRIMと他地域のデータベースやMEDLINEとの一括検索や検索結果を必要な地域のデータベースに絞り込むことも可能である。

VIII. おわりに

WPRIM構築に準備時期から管理面、実務面の多方面にわたり貢献されているソウル大学のJeong-Wook Seo教授は、「WPRIM Newsletter」の創刊号でWPRIMに期待される機能を次の3点から述べている¹⁰⁾。

- ・ 地域特有の保健情報を収集する。
 - ・ 収集した保健情報を信頼できる内容で流通させ、データベースで検索可能とする。
 - ・ 健康増進のために知識リソースの交換・共有を促進する。
- これらは現在もWPRIMが目標として掲げている内容である。

WPRIMが公開されてから10年が経過し、収載誌選択基準の改定や書誌データの形式の見直し、WPRIMやGIMの検索操作性の向上、各国の実務体制の整備など

種々の改善の必要性が挙げられている。また、WPRIMがどのように利用され、効果を上げているかを分析することも求められている。これらは今後のWPRIM会議やワークショップで取り組む課題である。

現在日本国内ではWPRIMやGIMの認知度は低い。しかし、WPRIMやGIMの利用は次の2点から価値が高い。第1に、日本国内における海外医学論文の検索はPubMedの利用が主流であるが、WPRIMやGIMにはPubMedでは入手できない地域特有の情報が掲載されていることである。第2は、WPRIMやGIMの収載誌は一定の質が担保されていることである。一般に雑誌の電子ジャーナル化に関しては、J-STAGEのように対象誌の推奨基準を設けたりして質を担保するシステムが存在する一方、電子ジャーナル化する雑誌の基準を明確にしているシステムもあり、いずれのシステムから出版された論文もGoogle Scholarや各種検索エンジンから検索可能となっている。WPRIMやGIMの検索はPubMedの検索と同様、一定の質が保証された雑誌を検索するシステムとして利用することができる。

西太平洋地域の医学・保健情報へのアクセスを提供するWPRIMが国内でより活用されるために、また日本からの情報がWPRIMにより多く掲載されインターネット上で共有されるために、WPRIMの有用性を説明して国内における利用促進を図ることが必要であると考えている。

本稿は2016年5月27日に開催された特定非営利活動法人日本医学図書館協会第1回学術集会(和歌山)にて発表した内容をまとめたものである。

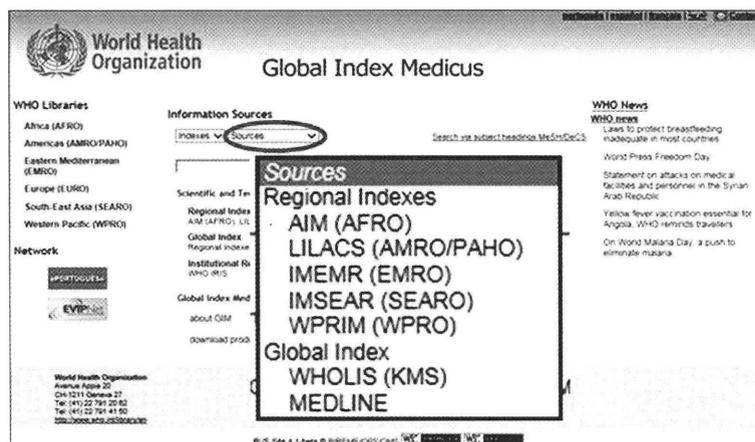


図3. Global Index Medicus (GIM)

参考文献

- 1) Western Pacific Region Index Medicus (WPRIM)[internet]. <http://www.wprim.org/> [accessed 2016-09-20]
- 2) 北川正路, 津谷喜一郎. 国際シンポジウム「信頼できる医学情報の共有-医療専門家から消費者まで-」WHO 西太平洋地域版 Index Medicus (WPRIM) 構築の現状. 医学図書館. 2007;54(4):380-5.
- 3) World Health Organization Regional Office for the Western Pacific (WHO/WPRO)[internet]. <http://www.wpro.who.int/en/> [accessed 2016-09-20]
- 4) WPRIM 国内委員会 (WPRIMJ)[internet]. <http://wprimj.umin.jp> [accessed 2016-09-20]
- 5) Global Index Medicus (GIM)[internet]. <http://www.globalhealthlibrary.net/> [accessed 2016-09-20]
- 6) WPRIM Journal Selection Criteria[internet]. WPRIM Newsletter. 2007;1(1):3. <http://wprim.whooc.org.cn/files/WPRIMNEWS2007.pdf> [accessed 2016-09-20]
- 7) 日本医学雑誌編集者会議 (Japanese Association of Medical Journal Editors: JAMJE) [internet]. <http://jams.med.or.jp/jamje/> [accessed 2016-09-20]
- 8) Asia Pacific Association of Medical Journal Editors [internet]. <http://www.wpro.who.int/apame/en/> [accessed 2016-09-20]
- 9) APAMED Central[internet]. <http://apamedcentral.org/> [accessed 2016-09-20]
- 10) Dr Seo's thoughts on WPRIM[internet]. WPRIM Newsletter. 2007;1(1):2. <http://wprim.whooc.org.cn/files/WPRIMNEWS2007.pdf> [accessed 2016-09-20]

Overview of the Western Pacific Region Index Medicus: A Database of Medical and Health Research Articles Published in the World Health Organization's Western Pacific Region

Masamichi KITAGAWA¹⁾, Kiichiro TSUTANI²⁾

¹⁾ Academic Information Center, The Jikei University School of Medicine. 3-25-8 Nishi-Shimbashi, Minato-ku, Tokyo 105-8461

²⁾ Faculty of Health Sciences, Tokyo Ariake University of Medical and Health Sciences

Abstract: The Western Pacific Region Index Medicus (WPRIM) is a bibliographic database developed by the World Health Organization (WHO) Regional Office for the Western Pacific in collaboration with several institutions and experts in its member countries and areas. The WPRIM is indexing medical and health journal articles published in the Region with the aim of increasing the accessibility of the research information generated in the Region. The WPRIM is a component of the WHO's Global Index Medicus (GIM), which integrates databases developed by WHO's Regional Offices to provide regional and indigenous medical and health

information. Although the WPRIM is available to the public via the Internet, it is not well known among Japanese researchers and librarians. The use of the WPRIM and its inclusion of articles from Japanese journals should be encouraged by showing the effectiveness of the medical and health information provided by the WPRIM.

Keywords: Databases, Bibliographic; Regional Health Information; World Health Organization; Western Pacific Region Index Medicus (WPRIM)
(*Igaku Toshokan*. 2016;63(4):312-317)